

医学部医学科共通テスト利用選抜『小論文』

1. 出題のねらい

この問題は、障害(弱視)を持った者の経験を題材として、「障害」と扱われることによってなぜ人間関係(友達関係)が変わってしまうのかを問いかけることで、そこからさらにわれわれの社会が障害を持つ者をいかに扱っているのかを考えさせるというものである。出題のねらいは2つある。

まず、筆者が1つは「善意」という言葉で意味するところを正しく読み取り、そこから障害を持つ者とその友達の気持ちや関係性の変化をどれだけ丹念に読み解けるかという点である。

もう1つは、このような具体的な事柄をわれわれの社会のあり方と結びつけながら捉えて、そこでの気づきや考えを自らの言葉でうまく説明できるかという点である。

2. アドミッション・ポリシーとの対応

[対応するアドミッション・ポリシー]

1. 十分な基礎学力を持ち、自ら問題を発見し解決しようとする意欲のある人。
→友達関係が成立しなくなる理由を考え、より根本的な問題を見出すことができる。
2. 基本的な倫理観と思いやりの心を持ち、利他的に考えることができる人
→障害を持つ者の経験から人間関係のあり方やそこでの心情を考えることができる。
4. 多様な文化、変容する社会の中で自らの使命を理解しようとする人
→この社会で障害を持つ者がおかれている状況を正しく理解することができる。